

琉球びんがた

「びんがた」は琉球首里王府の庇護のもとに、中国の型紙の技法も導入され、東洋のすぐれた華布として貴重な貿易品となりました。沖縄独自の美しい染物として、今日なおその華麗さは広く世界の人々から比類のない染め物として重宝されています。



琉球漆器

琉球漆器も中国の技法を取り入れ、当時の献上品、贈答品、民間交易品とされました。また、中国に職人を派遣し「螺鈿」「沈金」「箔絵」さまざまな技法が学ばれ、特に1715年、比嘉乗昌が高肉の華麗な加飾法を編み出し、これが今日琉球漆器を代表する「堆錦」になりました。



琉球ガラス

戦後荒廃の中から生まれた琉球ガラス、那覇市与儀にあったガラス工場が発祥の工房です。米軍の放出品の廃ビン等の利用で始まった琉球ガラスは職人達の努力で価値を高め、ブランドとして確立しました。再生ガラスの持つ素朴さに手づくりの温もり感が特徴で沖縄を代表する工芸品です。



時代から次代へ

～継承され発展する那覇の工芸品～



沖縄は、15～19世紀の琉球王国時代に日本本土はもちろん、中国、朝鮮および東南アジア諸国との交易により、それぞれの地域の特色ある文化を吸収し発展してきました。そして、貿易立国として栄えた沖縄は、諸外国の影響を受けて種々の立派な工芸を生み出しました。これらの工芸は、本市の首里・那覇を中心にして発展、数百年後の今日まで沖縄独特の伝統工芸として受け継がれています。

みなさんも世界に誇る那覇の魅力的なブランド(工芸品)を手にして、その素晴らしさを実感してみたいのではないでしょうか！

那覇の工芸品

経済産業大臣指定の伝統的工芸品215品目中、沖縄県には14品目もあります。これは京都府や新潟県に次ぐ全国三位の多さです。そんな伝統工芸品が多様に存在する本県にあって、那覇市では4品目の伝統的工芸品(琉球びんがた、琉球漆器、首里織、壺屋焼)が今日まで受け継がれています。さらに、戦後、米軍放出品の廃びんなどを再利用してつくられ、芸術品にまで発展した「琉球ガラス」も、本市からその製造がはじまりました。

また、この分野で、我が国の文化的財産「人間国宝」に認定された方々もいらしています。

首里織

琉球王府の城下町であった首里では、王族や士族用に格調高く、麗美に織られた織物が、現在まで織り継がれています。紋織から緋に至るまで多彩なのが首里織の特徴で、その中でも特に、「花倉織」や「道屯織」は王家、貴族専用とされ首里でしか織られませんでした。



壺屋焼

17世紀、当時の琉球王府は美里村(現沖縄市)の知花、首里の宝口、那覇の湧田にあった窯場を現在の那覇市壺屋に統合し陶器産業の振興を図ったと記録されています。現在の壺屋は、300年余の歴史を有しつつ伝統の火を現在も燃やしつづけています。



次代へつなぐ

年々、従事者が減少・高齢化していく中、本市の伝統工芸品のすばらしい技術や芸術性を次世代へ継承し、さらに発展させるため、各事業協同組合では「後継者育成」に積極的に取り組んでいます。この育成事業として、後継者としての継承と、感性の磨かれています。

▲びんがた研修(染色実習)

壺屋焼  壺屋焼の伝統的な技術、技法を身につけ戦後の沖縄の陶芸界をけん引した陶工の一人。 昭和60年 重要無形文化財	首里織  戦前の首里の織物の技法を幅広く習得し、戦後、首里の織物の復興に尽力。 平成10年 重要無形文化財	琉球紅型  「両面染(生地表裏の型付)」の伝統技法にも取り組み、高い評価を得ています。 平成8年 重要無形文化財
--	--	---

主な紙面

●特集時代から次代へ………	●市職員の給与・職員数のあらまし………
●ヘルストリビューション………	●生涯青春!いきいきシルバー………
●ミニ特集 ペットを飼いたい!でもその前に環境トピック/その他………	●情報バック………
●ニュース・ダイジェスト………	●協働さん/博物館トピックス/うちなーぐちあじくーたり………
5 4 3 2 1	12 11 7 6

手作り×楽しい=体験工房

- 琉球びんがた(トートバッグ小、60分2000円/1作品) ※定休:日曜
- 琉球ガラス(一輪挿し オリジナルグラス、10分、2,500円/1作品) ※定休:木曜
- 琉球漆器(飾り皿、60～90分、3000円/1作品)
- 首里織(マット、60分、2,500円/1作品)
- 壺屋焼(シーサー、120分、3,000円/1作品)(ロクロ成型(皿・コップなど)、60分、3,000円/1作品)

※予約制。くわしくは電話またはメールにてお問い合わせください。

【予約受付】9時～18時

●●首里織体験(コースター作成)●●

うまくできて楽しかった。次は長めのブックカバーに挑戦したいです!

▲兵庫県神戸市よりいらした大沢悠介さん・友理さん

お問い合わせ 那覇市伝統工芸館 ☎868-7866
商工農水課 ☎951-3212 (商工振興グループ)

展示室がリニューアル!

伝統工芸館の展示室が今年3月にリニューアル!新しくなった特別展示室は、本市の伝統工芸の歴史的作品、逸品の数々を展示しているほか、モニターを使って伝統工芸の制作過程をわかりやすく解説する設備も備えています。さらに、伝統工芸品をより魅力的に展示し、多彩な企画展を行っていくギャラリー(企画展示室)も新設しました。ぜひ、みなさん遊びにきてください。

【利用時間】9時～18時
【観覧料】大人300円、高校生200円、小中学生100円
※団体割引あり
※モノレール1日フリー乗車券提示で観覧料が10%OFF

▲特別展示室の入口 ▲ギャラリー(企画展示室)

那覇市伝統工芸館

世界に誇る本市の伝統工芸品を堂に集めている施設が「那覇市伝統工芸館」。国際通りの中心にある「てんぷす那覇」の2階にあり、人間国宝の作品をはじめとする伝統工芸品の展示や工芸品の販売(10時～20時)、職人の製作作業を間近で見学できる施設です。さらに、体験工房もあり、自分だけの工芸品を手作りする楽しみも味わえます。みなさんも、ぜひ、お気軽に遊びにきてください。

【アクセス】
モノレール…牧志駅下車 徒歩4分
バス…市内線「三越前」停留所 徒歩3分
市外線「牧志」停留所 徒歩3分
駐車場…建物地下81台
1時間300円 30分毎100円

【休館日】12/31～1/2の3日間